

南知多町立中学校再編実施計画（案）に対するパブリックコメントの結果について

1 実施募集期間

令和3年10月7日（木）～令和3年10月21日（木）

2 意見提出者数

47名

3 提出された意見の概要と町の考え方

いただいた意見の概要と、それに対する町の考え方は、以下のとおりです。

No.	意見等の概要	町の考え方
1	<p>我が家は日間賀島も令和5年度に統合に賛成です。</p> <p>投票した時、子どもたちは、反対でしたが、親としての考えを子どもたちに伝え、賛成に投票しました。</p> <p>子どもたちが統合に反対な理由は、やはり未経験のことに対する不安が大きいと思います。</p> <p>ほとんどの子どもが、そういう心理に傾いて当然だと思います</p> <p>今はそうかもしれないけど、統合に向け、具体的に他校との交流が増えていけば、不安な気持ちは少なくなると思います</p> <p>今は統合が嫌だって思っている子どもも、不安は消えなくても楽しみに思うようになる子どももいると期待しています</p> <p>我が家は3人子どもがいますが、長男が中3で統合になります。</p> <p>心配がないわけではありませんが、目先のことを考えて不安になるよりも、今できることを考えて、解決できることから解決していく、そうやって統合の準備ができると良いと思います</p> <p>起こってもないことを考え、不安を強くさせるのではなく、心配事を1つずつでも解決していく、そうやって統合の準備を先生、保護者</p>	<p>新しいことをするわけですから、子どもたちが不安な気持ちになるのも当然だと考えています。そこで、統合に対する不安要素をできる限り取り除いて、令和5年4月から円滑に学校がスタートできるようにします。合同行事や修学旅行時の交流の検討をするとともに、合同部活動を立ち上げ実施していくなど、令和4年度中から中学生同士の交流を深めることを検討しています。また、小中学校で相談できる体制を整え、児童生徒の皆さんが不安に思っていることや、心配していることを教員が一人ひとり面接する時間を作ります。そこでいただいた内容は教育委員会でも共有し、少しでも不安や心配を解消できるようにしていきます。</p> <p>また、子どもたちの不安をなるべく小さくできるような教員配置を愛知県教育委員会へ働きかけていますが、教員の居住地やそれぞれの生活もありますので、全て可能という訳ではありません。</p> <p>保護者の皆さまの不安につきましても、相談窓口の開設や意見箱の設置など、様々な形でご意見がいただけるような体制を整えます。相談会の実施や個別相談会の機会を設けるなど、継続して</p>

<p>と一緒に子どもたちと進めていけたら良いです。</p> <p>反対する意見を聞いていると、親も未経験のことに対する不安が大きいかからではないかと思えます。</p> <p>日間賀島の意見交換会でも意見で発言させてもらいましたが、大人が不安だと子どもも不安になるので、保護者の不安の軽減ができると良いと思えます</p> <p>交流会などで子どもたちが経験したこと、感じたこと、保護者も同じように感じられるようにしてほしいです</p> <p>例えば、交流会を保護者が見学できるとか、実際の子どもの反応を見て実感すると、親も少しずつ安心し、前向きに統合のことを考えられるのではないかと思いました。</p> <p>すでに先生方がプランを考えてくれているかもしれませんが、保護者として安心材料になると思えます。</p> <p>あとは、大人の不安を聞いてもらう相談窓口があると良いです。</p> <p>意見交換会で不安を聞いてもらうだけでは足りないと思えます。</p> <p>心配、不安に思った時に、できるだけ早く話を聞いてくれる人がいないと、不安がつわり、マイナスに考えてしまう人もいるかもしれません。</p>	<p>話し合いをさせていただければと思います。様々な角度からのアイデアを、ぜひ今後もお寄せください。</p> <p>統合の時期に該当するお子様や保護者の皆さまが心配なことは、十分承知しております。保護者の皆さまには、子どもたちに「いろいろな人たちと出会える、あなたが成長するいいチャンスなんだよ」と、前向きにとらえていただいて、子どもたちを応援していただけたらと思います。</p> <p>いずれにしても、統合中学校に通う子どもたちや、(小学校も含め)学校に集う大人の方々が、ともに各地区や南知多町の将来像を語り合う学校再編を目指していきます。これまでと同様、南知多町の子どもたちが通う小中学校に対してのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>
<p>2 通学用のチャーター便は帰りの便も用意して欲しいです。</p> <p>17時、18時の船は両島民で比較的混雑します。金曜日にも観光客で混雑することがあります。</p> <p>観光客とのトラブルなど気掛かりなので帰りの便も授業後と部活後の2便用意してもらいたいです。私立中のように自ら受験して通学を決めた子たちではないので、町の公立中に通わなければならない島の子たちには交通の便を少しでも通学しやすく、より安全な環境で整えてあげて欲しいです。</p>	<p>名鉄海上観光船や海上タクシー会社とも協議していますが、各会社の人員数、保有船舶数の問題、夕方の定期便の乗客数のデータなどから総合的に判断すると、現段階では、帰りのチャーター便運行は難しいとの回答を得ています。島内の海上タクシーについては、生徒数約50人が座れる船の数は、限られており、定期的なドッグでの点検や、救急対応等により定期的な運行は、難しいと考えています。</p> <p>定期船については、現状の時刻表で考えると、師崎港発 16:30 発は、東港、西港に着きます。それ以降師崎港発の船は、篠島経由の</p>

		<p>日間賀島行きとなりますが、高速船の規格が大きくなりますので、平日については、船内で座って帰ることができると考えています。また、優先的に子どもたちを乗船させるアナウンス等により、座席の確保はできると考えています。この件については、今後も名鉄海上観光船と協議していきます。</p> <p>また、帰りのスクールバスは、下校時に帰りの船の時刻にできる限り合わせた出発と、到着地の師崎港で、バスの中での待機等により、待合場で生徒が待たない工夫をしていきます。</p> <p>引き続き名鉄海上観光船との協議を進めるとともに、より安心できる登下校の方法を検討していきます。</p>
3	<p>私は絶対に反対です。</p> <p>学校に通うのは子供達なのに その子供たちの意見を無視して合併しようとするなんて許せません。</p> <p>南知多の教育委員会は、都合のいい事だけを報告して 都合の悪い事は、隠したり、検討してから後日報告するなど、やり方が汚いと思います。</p> <p>だから 私は絶対に反対です。</p>	<p>子どもたちの意見は当然大切です。しかし経験豊富な大人からの多角的な助言と併せて受け止める必要があります。「未経験なことに対する不安」や、高校生になってから「もっと早い段階から、いろんな人と一緒になっておくと良かった」という意見も聞きます。そこで、今回の統合の時期に関する投票は、保護者の方とお子様とでよく相談して考えていただくよう依頼してまいりました。</p> <p>各地区の意見交換会においては、確実に決まっている内容については、保護者の皆さまに報告してまいりました。しかし、関係機関などとの調整が必要な事案や、他地区の意見も踏まえた上で決まった内容については、後日の報告となってしまったことがあるかもしれません。ご理解をお願いしたいと思います。</p> <p>今後、相談窓口の開設や意見箱の設置など、様々な形でご意見がいただけるような体制を整えます。また、相談会の実施や個別相談会の機会を設けるなど、継続して話し合いをさせていただければと思います。</p>

4	<p>俺は統合には反対派です。うちは片親ですし、島外の学校で子供に何かあってもすぐに行けないし、日間賀島の学校ならではの行事も無くなるかもしれないと思うと淋しく感じます。</p> <p>例えば、運動会なら、島外の学校なら土日の行事だと思いますが、俺の場合は、必ず休みではないので行けない事もあります。</p> <p>それと子供の意見は反対が多いみたいですので、親の意見より子供の意見を先に見てあげたほうがいいと思います。</p>	<p>日間賀島からの通学については、海を渡って長い距離の通学となるためご心配されることと思います。できる限り通学に負担をかけないように登下校の船やバスの運行について検討していきます。また、生徒の体調不良等の場合も保護者の方に連絡して対応することとしています。</p> <p>学校行事については、中学校再編委員会の中で、生徒の意見等も取り入れて検討していきます。学校と地域との連携を深めるコミュニティ・スクールの仕組みを取り入れ、地域の皆さまの力も借りて学校運営を進めていきたいと考えています。</p> <p>子どもたちの意見は当然大事ですが、経験豊富な大人からの多角的な助言と併せて受け止める必要があります。「未経験なことに対する不安」や高校生になってから「もっと早い段階から、いろんな人と一緒になっておくと良かった」という意見も聞きます。そこで、今回の統合の時期に関する投票は、保護者の方とお子様とでよく相談して考えていただくよう依頼してまいりました。ご理解をお願いします。</p>
5	<p>通学するようになってから気付く問題もあると思うので、その都度、柔軟に対応してほしい。</p> <p>統合時に現中学校の先生を異動とあるが、現在小5は知らない先生ばかりになるので、現小学校からも異動させてほしい。</p> <p>島民体育祭に参加させてほしい。</p> <p>全員船に乗ったかどうか、人数把握のために、行きも帰りもチャーター便にしてほしい。</p> <p>他の地域の方が問題視していること、それについての対応策も知りたい。</p>	<p>再編後についても、生徒や保護者の意見を聴くことができる体制づくりをし、不安や悩みを抱える生徒との相談などの対応を行うスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置、特別支援学級生徒のケアなどを行っていきます。お気づきの点がありましたら、現在はもちろん統合後も引き続き、遠慮なくお伝えください。</p> <p>また、子どもたちの不安をなるべく小さくできるような教員配置を愛知県教育委員会へ働きかけていますが、教員の居住地や個々の生活もありますので、難しい部分もあります。</p> <p>日間賀島地区に限った話ではありませんが、中学校再編委員会の中で地区の方も含めて協議しながら、体育祭をはじめとする行</p>

事の在り方について、中学生を参加させる方向で検討していきたいと考えています。各地区の行事を活性化させる（よりよい在り方を考える）のは、住民である中学生にとっての大切な課題でもあります。参加はもちろん、行事の企画や運営にも携わることができれば、中学生にとっても（広い意味での）学習になるでしょう。住民の皆さまからも、中学校の統合をきっかけとする、地区活性化のアイディア、ご意見をいただきたいと思います。

帰りのチャーター便については、名鉄海上観光船や海上タクシー会社とも協議していますが、各会社の人員数、保有船舶数の問題、夕方の定期便の乗客数のデータなどから総合的に判断すると、現段階では、帰りのチャーター便運行は難しいとの回答を得ています。島内の海上タクシーについては、生徒数約50人が座れる船の数は、限られており、定期的なドッグでの点検や、救急対応等により定期的な運行は、難しいと考えています。

定期船については、現状の時刻表で考えると、師崎港発 16:30 発は、東港、西港に着きます。それ以降師崎港発の船は、篠島経由の日間賀島行きとなりますが、高速船の規格が大きくなりますので、平日については、船内で座って帰ることができると考えています。また、優先的に子どもたちを乗船させるアナウンス等により、座席の確保はできると考えています。この件については、今後も名鉄海上観光船と協議していきます。

下校時の船待合については、帰りのバスの出発を船の時刻にできる限り合わせることで、到着地の師崎港でバスの中での待機等により、師崎港観光センター内で生徒が待たない工夫をしています。

他地域の保護者意見交換会の概要については、町ホームページ

		に5地区分掲載していますので、ご覧ください。
6	<p>もし、合併が確定なら</p> <p>1つは 行きだけでなく帰りもチャーター便で帰って欲しい。</p> <p>2つ目は 島太鼓を続けて欲しい。（祇園やタコ祭りを盛り上げてもらいたいから）</p> <p>3つ目は 町民体育祭がこれからもあるなら 参加可能にしてもらいたい。（島のお年寄りとの交流にもなるし、楽しみであるから）</p> <p>これが 私の合併するならして欲しい事です。</p>	<p>1つ目の帰りのチャーター便については、名鉄海上観光船や海上タクシー会社とも協議していますが、各会社の人員数、保有船舶数の問題、夕方の定期便の乗客数のデータなどから総合的に判断すると、現段階では、帰りのチャーター便運行は難しいとの回答を得ています。島内の海上タクシーについては、生徒数約50人が座れる船の数は、限られており、定期的なドッグでの点検や、救急対応等により定期的な運行は、難しいと考えています。</p> <p>定期船については、現状の時刻表で考えると、師崎港発 16:30 発は、東港、西港に着きます。それ以降師崎港発の船は、篠島経由の日間賀島行きとなりますが、高速船の規格が大きくなりますので、平日については、船内で座って帰ることができると考えています。また、優先的に子どもたちを乗船させるアナウンス等により、座席の確保はできると考えています。この件については、今後も名鉄海上観光船と協議していきます。</p> <p>下校時の船待合については、帰りのバスの出発を船の時刻にできる限り合わせることで、到着地の師崎港でバスの中での待機等により、なるべく師崎港観光センター内で生徒が待たない工夫をしていきます。</p> <p>2つ目は、各地区における行事等の取り組みの今後の在り方については、具体的には中学校再編委員会で検討いたします。なお、島太鼓について、例えば休日に講師に来てもらい活動したり、先輩が後輩に教える体制をつくったりするなど、やり方を工夫して継続できる方法をみんなで考えていきたいと思えます。</p> <p>3つ目は、日間賀島地区に限った話ではありませんが、中学校再編委員会の中で地区の方も含めて協議しながら、体育祭をはじめ</p>

		<p>めとする行事の在り方について、中学生を参加させる方向で検討していきたいと考えています。</p> <p>各地区の行事を活性化させるのは、住民である中学生にとっての大切な課題でもあります。参加はもちろん、行事の企画や運営にも中学生が携わることができれば、中学生にとっても（広い意味での）学習になります。</p> <p>住民の皆さまにおかれましても、学校の再編をきっかけとしていただき、これまで行ってきたことの継続や、これから新たに創っていくことなど、地区の活性化につながるアイデア、ご意見やご要望をお寄せくださいますよう、お願いします。</p> <p>ぜひ、様々な角度から検討を進め、「(むしろ) 統合してよかった」と中学生も住民の皆さんも思えるような学校を創っていきましょう。</p>
7	<p>もう決まってしまったみたいだけど、やっぱり反対です。</p> <p>それに、投票の数を見ても、どちらかにもっと偏るようならだけど、ほぼ半数近いような感じで決まってしまったのは納得いってないです。</p> <p>白紙や、未回収もあったみたいだし。</p> <p>決まってしまった後も、やっぱり通い初めてからじゃないとわからない事も沢山あるだろうし、正直不安な事ばかりです。</p> <p>何事も、日間賀島と篠島は、陸の子達と同じようにはいかないと思います。</p> <p>同じ学校に通うのに、そういうふうになるのはちょっとどうかと思うのもあります。</p>	<p>令和3年7月に実施した保護者アンケートにおいて、「日間賀中は統合する」とした回答を合計すると68.6%、「統合には反対」とした回答を合計すると23.5%でした。しかし統合に対して賛成の意見が多いことを受け、9月に実施した投票には「反対」の選択肢を設けず、統合の時期について問う投票を実施いたしました。その結果、「令和5年4月での統合」を望む「賛成」票が過半数を超えたので、ご理解をお願いします。</p> <p>今後も子どもたちや保護者の不安をできる限り解消するために、相談窓口の開設や意見箱の設置など、様々な形でご意見がいただけるような体制を整えます。また、相談会の実施や個別相談会の機会を設けるなど、継続して話し合いをさせていただければと思います。</p> <p>合同行事や修学旅行時の交流の検討をするとともに、合同部活動を立ち上げ実施していくなど令和4年度中から中学生同士の交</p>

		<p>流を深め、令和5年4月から円滑に学校がスタートできるようにしていきます。また、小中学校とも協力し、子どもたちの不安の内容を把握し、それを軽減する手立てをとります。</p> <p>両島地区住民の皆様におかれましても、これまで同様に、中学生を育てる諸活動へのご支援、ご協力をよろしくお願いします。</p>
8	<p>不安なことを口に出す場所があるだけでも、本当に救われる人がたくさんいると思う。</p> <p>意見が通るように持っていきたいし、それでも、叶わない望みがあるとは思いますが、その望みがあるということをわかってくれる場所があることが大切なことだと思います。</p> <p>意見交換会をもっとやってほしい。</p> <p>意見や質問を、その場で言える場所をつくってください。</p> <p>(再編委員会の前の段階で)</p>	<p>相談窓口の開設や意見箱の設置など、様々な形でご意見がいただけるような体制を整えます。また、相談会の実施や個別相談会の機会を設けるなど、継続して話し合いをさせていただければと思います。様々な角度からのアイデアを、ぜひ今後もお寄せください。</p>
9	<p>この後、議会に案が通って決定となっても、日間賀島の人たちは陸の人と比べて、ハンデが大きい。</p> <p>だから、決定後に決めていく条件が揃った段階で、もう一度選挙をして最終的に統合するのかもしれないのか決めれるようにしてください。</p>	<p>令和3年7月に実施した保護者アンケートにおいて、「日間賀中は令和10年までには統合する」とした回答を合計すると68.6%、「統合には反対」とした回答を合計すると23.5%でした。この結果を受け、「日間賀中学校は統合する」としましたが、統合の時期については意見が分かれている状態でした。このため、9月に実施した投票には「反対」の選択肢を設けず、統合の時期について問う投票を実施いたしました。</p> <p>この結果「令和5年4月に統合」に賛成が過半数を超えましたので、進めていくことにご理解をお願いします。</p> <p>ご心配や不安はあるかと思いますが、令和4年度中から中学生同士の交流を深め、統合に対する不安要素をできる限り取り除いて、令和5年4月から円滑に学校がスタートできるようにします。また、小中学校で相談できる体制を整え、児童生徒の皆さんが不</p>

		<p>安に思っていることや心配していることを教員が一人ひとり面談して聞くことにしています。そこでいただいた内容は、教育委員会でも共有し、少しでも不安や心配を解消できるようにしていきます。</p> <p>相談窓口の開設や意見箱の設置など、様々な形でご意見がいただけるような体制を整えていきますので、ご理解ください。</p>
10	<p>私は反対派です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜいきなり、統合有りきのアンケートだったのか？ <p>ひとりでも反対があればないと聞いていたが、賛成が多いから統合は決定の上での賛成・反対というのは、かなり横暴で強引ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園児の保護者は、「まあ、うちの子のときはもう合併してるし、どっちでもいいから5年にしとくかー」と賛成にした人もいるので、賛成が過半数超えたといっても、真実の賛成ではない。 <p>統合時の当事者のことを考えての賛成ではないし、児童の意思もない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・篠島との不公平感。島で存続できるならその方がいい人は多い。両島は足並み揃えないと、差が出ることで対立も生む。篠島が統合しないなら、日間賀も合わせるべき。 ・統合後の船の発着場所は、なぜ10年からは西港だけなのか。東里ばかりに負担がかかる。 <p>西港と真反対に住む児童で、車を持っていない家庭も実際にある。東西で差を出さないでほしい。</p> <p>ただでさえ島外へ通う事が大負担なのに、いくら経費がかさむとしても、ここは削ってはいけないのではないか。</p> <p>それぐらいの負担は町にしてほしい。</p> <p>島外へ通えというなら、船はきちんと東西に発着してほしい。</p>	<p>令和3年7月に実施した保護者アンケートにおいて、「日間賀中は令和10年までには統合する」とした回答を合計すると68.6%、「統合には反対」とした回答を合計すると23.5%でした。この結果を受け、「日間賀中学校は統合する」としましたが、統合の時期については意見が分かれている状態でした。このため、9月に実施した投票には「反対」の選択肢を設けず、統合の時期について問う投票を実施いたしました。</p> <p>統合については、保護者の理解が得られなければ、統合しないと説明してまいりました。教育委員会として「ひとりでも反対がいたら統合しない」とすると、他の地区の統合も全くできない訳ですから、そのような説明はできません。ただし、質問に対して、「皆さんの理解が得られなければ統合はできない。」という発言がありました。この場合の「皆さん」とは、「保護者の皆さん(全体)」という意味ですが、この表現が誤解を招いてしまったのかもしれませんが、申し訳ありませんでした。当初から保護者の皆さんの意見を尊重して進めるつもりでしたので、方針が変わった訳ではありません。</p> <p>投票の対象となる保護者については、統合の時期に移動対象となるお子様をもつ保護者だけでなく、将来直接関わることになる島で子育てをしている保護者の方すべてに、島の子どもたちの将来について考えていただきたいと考えました。今までアンケート</p>

	<p>こういう不公平も、一方に間違っただけの優越感を与えて対立を生む原因だと思う。</p> <p>もっと細かいことはいっぱいありますが、メールで伝えるのは難しいです。</p> <p>毎日の通学で、海を隔てていることで、</p> <p>「通い続ける」というのは島外に住んでいる人たちが思っているよりも相当の負担がかかります。大人でも嫌気がさすのに子供たちの負担を思うと。</p> <p>不登校も増えると思うし、そういうケアや支援を、どれくらい本気でやってくれるのか疑問もあります。必死でやってくれないと困ります。</p>	<p>などでご協力いただいておりますし、統合するタイミングで自分の子どもが、中学生だったらと考えていただき、「島の子どもたちの将来にとってどちらがいいのか」という視点で考えていただきたいと考えたものです。</p> <p>篠島につきましては、教育委員会としては、第2段階である令和10年4月に1中を目指すことに変わりはありませんので、篠島と協議を継続し、保護者の理解が得られるように努めてまいります。</p> <p>第2段階で篠島中も統合となった場合、篠島、東港、西港と3港を経由すると、全体の通学時間がかかなり長くなってしまいますので、現時点では西港のみを想定しています。また、東港からの7:20分発の定期船を利用するといった方法も考えられますので、今後の検討事項です。</p> <p>統合時期の保護者の皆さまにおかれましては、不安なことが多いと思いますが、相談窓口の開設や意見箱の設置など、様々な形でご意見がいただけるような体制を整えます。また、相談会の実施や個別相談会の機会を設けるなど、継続して話し合いをさせていただければと思います。</p> <p>生徒のケアについては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置など、不安や悩みを抱える生徒が相談できるようにしていきます。</p>
1 1	<p>うちの子に限らず普段学校に行くのも大変な子はたくさんいると思う。それが船に乗って、バス乗ってだと余計行きづらくなると思う。</p> <p>それとほんと今の若いお嫁さんが本気で考えてくれてないのが悔しい。自分たちは島を出て行くから関係ないと思う人もいる。このままだと子供は減ると思う。そうすると自然と若い世代は居なくなり島民が減る。負の連鎖でしかない。</p>	<p>通学において、支援が必要な児童生徒につきましては、個別に相談を受けますので、ご相談ください。</p> <p>今後も小学校は、町内5地区に残していきますので、地域社会の生活や文化活動における中心的な場所としての機能を今後さらに充実させていきたいと考えています。一方、中学校は、地区を越えた様々な人たちとの出会いを通して子どもたちに社会性を育む</p>

	<p>小、中一貫校でいいから島に残して欲しい。 みんなの意見が届くことを願っています。お願いします。</p>	<p>ことが可能になってくるはずですが。将来の各地区の担い手、未来の創り手である中学生が、自地区の状況を知り、考えとともに、他地区生徒と情報交換をし、ともに行動に移す機会が、統合する中学校だからこそ持てるのではないのでしょうか。</p> <p>中学校再編により、地域と学校が距離的に離れてしまうことを心配される方もいらっしゃると思います。しかし、目指すのは、再編によって他地域のことを知ることで、「むしろ中学生が地域のことをより深く、自分のこととして考えるようになった」という姿です。「地域全体で子どもの成長を見守る魅力的な学校」「島からでもクラス替えができる中学校へ通学できる」というのを希望する方もいるかもしれません。地域とともにある学校づくりを目指していきます。</p> <p>また、クラス替えができる環境での小中一貫校は、9年間という長い期間で教育を行えるようなメリットもありますが、現状での一貫校は1学年の人数が増加するわけではないため、クラス替えの実施や、多様な人との出会いを実現するには不十分だと考えています。</p>
1 2	<p>統合することについて、なぜ子どもたちがアンケートをする時に、しっかり説明をしてくれなかったんですか。</p> <p>子どもたちの意見を、今から聞くって遅いと思います。学校の先生が、聞いても教育委員会の人には、ちゃんとした返事をくれないからです。</p> <p>二年間、統合について、意見交換に参加しましたが、誰一人、私たちが、意見を言っても、ちゃんとした答えは、今まで、一度もありませんでした。</p> <p>意見交換をしても、誰も紙と鉛筆を持って、意見を聞き取る人もいなかったです。教育委員や役場の人たちは。ただ、開催した事実を残</p>	<p>学校の統合については、子どもたちの人数が減少してきており、学年によっては、近い将来10人を切ってしまう学年が出てきます。中学校と小学校9年間、保育所をあわせると12年間、同じ子どもたち同士で学校生活をしていることになります。少しでも早くいろいろな人に出会う機会を増やしたいと思い、2年前から統合について、各地域の保護者のご意見を伺ってきました。意見交換会では、ご意見が言えない方もいますので、会終了時には、必ず意見記載用紙にご意見を記入していただくようお願いしたり、会終了後に個別で意見を伺ったりして、広く意見を集めることを行ってきました。</p>

したいだけだったんですよ。

写真も撮っていましたが、私は、写真の同意していませんので。

意見交換の時間も、自分たちの話が長くて、意見交換の時間は短いんですよ。それで、みんなの意見が聞けますか？

たった、二年間で、この前集まってもらった人数が、121世帯の、何分のイチだったんですか？

去年の、PTAの人たちが、なぜこの意見交換に出席してない、理由って分かりますか？

もっと、日間賀島の人に、話を聞きにきてもらうには、どうしたらいいのか考えたことってありますか？

私は、不信感やアンケートの取り方の不満や、統合の投票の紙の描き方の、不足など、納得できることが一つもありません！

町長が、言っていましたよね！

中学校と小学校で、一つの学校って言う案もありましたって、そんなこと、今まで、話をしなかったことなど、あなたたちは、統合する話しかしてこなかったのは、何故ですか？

南知多町の未来を、支えてくれるのは、子どもたちじゃないんですか？

今の子どもたちに、南知多町は、お金を投資しないってことですよ。

みんな、子どもたちが、南知多町に残ってもらうことができなければ、終わってしまいますよね。

なんで、そんなに、お金がないってことばかり、いうのかわかりません！

今までに、こんな結果になる前に、考えなければいけないことは沢山あったんじゃないんですか？

子どもたちを、犠牲にするのは、やめてください。

昨年度、町内5地区の小中学校や保育所の保護者、地域の代表で構成された学校規模適正化懇談会において、内海中を改修して利用していく案が出されました。その後、各地区の意見交換会でいただいた意見を踏まえ検討しました。特に両島での意見交換会においては、「内海中の位置では遠過ぎる」という意見を多くいただきました。

町内すべての学校施設が老朽化している中、できる限り早く統合を目指し、町内すべての生徒の通学時間を最優先した結果、第一段階で令和5年4月に内海中へ移動し、第二段階として、令和10年4月に豊浜中に新設校を建設する案となりました。

子どもたちへのアンケートは、令和2年7月に実施しました。児童・生徒（当時小4～中3）対象のアンケートです。アンケート実施時点では、「町内1校」または「(統合校、篠島中、日間賀中の)3校」とする想定で、問いを設けました。子どもたちの意見はもちろん大事ですが、経験豊富な大人からの多角的な助言と併せて受け止める必要があります。「未経験なことに対する不安」や高校生になってから「もっと早い段階から、いろんな人と一緒になっておくと良かった」という声も聞きました。そのように考え、今回の統合の時期に関する投票は、保護者の方とお子様とでよく相談して考えていただくよう依頼してまいりました。

9月の意見交換会は、日間賀島に限らず、どこの地区も保護者の参加者は少なかった面もありますが、説明会の資料は事前にホームページに記載し、動画説明もアップし、緊急事態宣言下の中、保護者の方に周知できるよう実施してきました。

今後の学校統合については、「南知多町立小中学校 適正規模・適正配置基本計画」にあるとおり、中学校は、1校を目指しますが、現在、小学校は各地区に1つ残す計画になっています。

	<p>義務教育の子どもたち、 ……学校教育法第29条、第40条 南知多町の教育委員や役場の人たちは、中学校を、一つでいいと思ってるんですね。 大体、師崎の観光船のどこに子供たちが、待っている場所があるんですか？ 海っ子バスや、知多バスでも、何十分も、待たないといけないし、中学生だって、何するかわからないんですから。ちゃんと、毎日先生が、朝は日間賀島の切符売り場で、点呼して、バス乗る前に点呼して。帰りも、同じように、ちゃんと日間賀島まで、送ってきてくれる先生が、いるのが当たり前だと思います。 体調不良の、子供が出たときも、責任を持ってください。 今までだと、カーフェリーが欠航になったときには、給食は、非常食を食べていましたよね。 子供たちには、観光船が、動いている限り、学校に通わせないといけないんですか？ カーフェリーが、欠航になったら、日間賀中学校で、授業にしてください。船酔いや、バス酔いする子供たちは、内海中まで、行っても授業が、受けれないと思うから。学校の行事ことは、基本火曜にやってください。</p>	<p>財政面についても、5つの中学校を維持していくよりも、1つか2つの学校の方が、重点的に予算をつけることができますので、いい環境で子どもたちに準備できる、という面もあります。 下校時の船待合については、帰りのバスの出発を船の時刻にできる限り合わせることや、到着地の師崎港でのバスの中での待機等により、師崎港観光センター内で生徒が待たない工夫をしています。 また、通学に慣れるまでの間、高速船に担当者を乗せて状況を把握し、対応を検討していきます。 また、両島生徒の場合、体調等の状況にもよりますが、学校職員が師崎港まで付き添って乗船させ、保護者の方は島の渡船施設にお越しいただくことも可能です。 定期船等が欠航のときは、家庭または公共施設で授業を受けられる準備をしますし、リモート対応の基準は今後定めていくこととなります。様々なケースを想定し、個別的な事情であってもリモート授業を受けられるような体制を検討していきます。 地域の行事については、日間賀島地区に限った話ではありませんが、中学校再編委員会の中で地区の方も含めて協議しながら、体育祭を始めとする行事の在り方について中学生を参加させる方向で検討していきます。</p>
13	<p>役場はこの資料を見たんですか？ この資料を見たうえで、メリットがあるって言ってるんですか？ この資料を、今度日間賀島に持ってきて、みんなに見てもらってください！ 日本福祉大学社会福祉学部</p>	<p>ご質問のあった資料については見ておりませんでしたので、ご意見をいただいて拝読しました。 人口減少における対策として小中学校の重要性はあります。しかし、本町の児童生徒数については、子どもたちの人数が減少してきており、学年によっては、近い将来10人を切ってしまう学年が出てきます。中学校と小学校9年間、保育所をあわせると12年</p>

『日本福祉大学社会福祉論集』第142号 2020年3月
人口減少地域（消滅可能性都市）における人口対策の検討
住民・専門職の年歳別（30～50歳代）意識の比較から

間、同じ子どもたち同士で学校生活をしていることとなります。少しでも早くいろいろな人に出会う機会を増やして、教育環境を充実したいと思い、2年前から統合について、各地域の保護者のご意見を伺ってきました。

小学校については、まちづくりの観点から、町内5地区に残していきます。地域社会の生活や文化活動における中心的な場所として、小学校の機能を今後、充実させていく必要があると考えています。

一方で中学校は、地区を越えた様々な人たちとの出会いを通して生徒に社会性を育むことが可能になります。将来の各地区の担い手、未来の創り手である中学生が、自地区の状況を知り、考えるとともに、他地区生徒との情報交換をし、ともに行動に移す機会が、統合する中学校だからこそもてるのではないのでしょうか。

学校教育活動の中に郷土についての学習を取り入れ、児童生徒が地域の自然、風物、歴史、産業などの魅力を知り、それらを活かす方策について考えを交わし合うことは、人口減少が続く南知多町だからこそ大切であり、必要なことだと考えます。住民の皆様におかれましても、統合する中学校の教育活動へのご支援、ご協力をお願いします。

南知多町が育てたい児童生徒像は「郷土に誇りをもち、心豊かに自ら学び、心身ともに健康でたくましい児童生徒」です。冒頭に「郷土に誇りをもち」とありますが、現在、子どもたちの郷土は「各地区」であると思います。中学校の統合をきっかけに、中学校で学びを深める中で、子どもたちにとっての郷土が「各地区」をもとに「南知多町全体」へ広がっていくような意識の変容を導けるとよい。そういう統合中学校を創っていきたいと思います。そのことが、南知多町の人口減対策の基礎になっていけばと考え

		ています。
1 4	登下校時のバスに乗る前や船に乗る時に点呼して、子供たちが乗り遅れないようにしっかりと徹底してほしいです。先生や生活支援員さんなど、バスなどに登下校時に乗っていただくと安心です。	通学に慣れるまでの間、高速船やバスに担当者を乗船させて、状況を把握し、対応を検討していきます。
1 5	クラス編成を、初年度の中学3年のみでもいいので地区ごとにまとめてほしい。 出来るだけ、精神的負担をへらすため。	統合した初年度の中学3年生について、本来なら3クラスのところ、統合における配慮したクラス編成をすることは、選択肢の1つです。地区別の4クラス編成は、クラスメイトに変化がないことから、卒業後の進路決定を控える3年生の統合への不安を緩和することができるメリットがあります。ただ、再編の目的の1つである、新しい仲間との出会いといった効果が薄れることになります。今後、生徒や保護者の皆さまの声も聞きながら、中学校再編委員会で協議し、検討していきます。
1 6	統合のための、準備期間が短すぎる。	7月の保護者アンケートで提示した原案では、「篠島中、日間賀中については、あくまで保護者の理解が得られた段階で統合する。理解が得られれば第1段階で統合する」としていました。 そのアンケートの結果、「日間賀中は令和10年までには統合する」とした回答を合計すると68.6%となりました。その後、統合の時期に関する投票を実施した結果、令和5年4月とした投票数のほうが多く、その結果を踏まえ、第1段階である令和5年4月の統合対象校に日間賀中も含める実施計画案となりました。 7月に実施したアンケート調査では、町内の多くの保護者から統合を望む声があり、少しでも早く統合することによって、子どもたちに様々な人との出会いができるようにしていきたい考えです。

		<p>統合に対する不安要素をできる限り取り除き、令和5年4月から円滑に学校がスタートできるように、合同行事や修学旅行時の交流の検討をするとともに、合同部活動を立ち上げ実施していくなど、令和4年度中から中学生同士の交流を深めていきます。また、小中学校で相談できる体制を整え、児童生徒の皆さんが不安に思っていること、心配していることを教員が一人ひとりと面接する時間を作りたいと思います。そこでいただいた内容は、教育委員会でも共有し、少しでも不安や心配を解消できるようにしていきます。</p> <p>また、子どもたちの不安をなるべく少なくできるような教員配置を愛知県教育委員会へ働きかけています。</p> <p>保護者の皆さまの不安につきましても、相談窓口の開設や意見箱の設置など、様々な形でご意見がいただけるような体制を整えます。相談会の実施や個別相談会の機会を設けるなど、継続して話し合いをさせていただければと思います。</p>
17	<p>下校時で、スクールバスで師崎まで来たが乗船時に急な体調不良等の理由で乗り遅れた場合、その際の、帰宅方法として、定期船で帰れるのですか？</p> <p>乗る際に、チャーター便の定期券で対応していただけるのですか？</p> <p>倒れてしまったり、何かがあった時の対処は、先生などの大人がいない場合、どうなりますか？</p>	<p>生徒には、通学定期代を全額補助しますので、定期船で帰宅していただくこととなります。</p> <p>通学に慣れるまでの間、高速船に担当者を乗船させて状況を把握し、対応を検討していきます。</p>
18	<p>役場の教育課の方たちが、日間賀島の子ども達が下校する際の時間に、実際に師崎の定期船乗り場に行き、待合所の状況(混雑具合など)、安全面などを見てもらいたい。</p> <p>特に冬は、海が大荒れになる日が多いです。定期船で、篠島から日間賀島西港に向かう船は、沈没するんじゃないかと思うくらいに船は揺れます。</p>	<p>下校時の船待合については、帰りのバスの出発を船の時刻にできる限り合わせることで、到着地の師崎港でのバスの中での待機等により、なるべく師崎港観光センター内で生徒が待たない工夫をしています。</p> <p>また、通学に慣れるまでの間、高速船に担当者を乗船させて状況を把握し、対応を検討していきます。</p>

	<p>そのような経験や知識を元に、私たちは、帰りの船もチャーター便にしてほしいという声をあげています。</p> <p>意見を聞くだけでなく、実際に体験して、実感してください！</p> <p>経験がなければ同じ目線で話し合いができないではありませんか？</p>	<p>帰りのチャーター便については、名鉄海上観光船や海上タクシー会社とも協議していますが、各会社の人員数、保有船舶数の問題、夕方の定期便の乗客数のデータなどから総合的に判断すると、現段階では、帰りのチャーター便運行は難しいとの回答を得ています。島内の海上タクシーについては、生徒数約50人が座れる船の数は、限られており、定期的なドッグでの点検や、救急対応等により定期的な運行は、難しいと考えています。</p> <p>定期船については、現状の時刻表で考えると、師崎港発 16:30 発は、東港、西港に着きます。それ以降師崎港発の船は、篠島経由の日間賀島行きとなりますが、高速船の規格が大きくなりますので、平日については、船内で座って帰ることができると考えています。また、優先的に子どもたちを乗船させるアナウンス等により、座席の確保はできると考えています。この件については、今後も名鉄海上観光船と協議していきます。特に冬場の対応については、リモート授業などの導入を踏まえ、考えていきます。</p>
19	<p>現状の船の便数では、学校が島外に移ることで起こり得る、様々なシチュエーション（怪我、体調不良で、病院に行って、最終便に間に合わない等）を考えると不安がある。なので、21時台までの名海上の増便を叶えてほしい。</p>	<p>町まちづくり推進室が以前から継続して要望しており、実証実験なども行いましたが、実現しておりません。学校統合という状況の変化もありますので、引き続き要望は続けて参ります。学校管理下におけるケガ等の場合で、定期便に間に合わないケースへの対応は、教育委員会として検討していきます。</p>
20	<p>帰りも、生徒用のチャーター便にしてほしい。</p> <p>もし、計画案が出てるのであれば、しっかりと再編実施計画にのせてほしい。</p> <p>（日間賀島の、海上タクシーをチャーター便として使うなど）</p> <p>令和10年以降、篠島も統合となった場合、篠島→日間賀西→師崎に計画案がなっているが、東港にもついてほしい。</p>	<p>帰りのチャーター便については、名鉄海上観光船や海上タクシー会社とも協議していますが、各会社の人員数、保有船舶数の問題、夕方の定期便の乗客数のデータなどから総合的に判断すると、現段階では、帰りのチャーター便運行は難しいとの回答を得ています。島内の海上タクシーについては、生徒数約50人が座れる船の数は、限られており、定期的なドッグでの点検や、救急対応等により定期的な運行は、難しいと考えています。</p>

		<p>定期船については、現状の時刻表で考えると、師崎港発 16:30 発は、東港、西港に着きます。それ以降師崎港発の船は、篠島経由の日間賀島行きとなりますが、高速船の規格が大きくなりますので、平日については、船内で座って帰ることができると考えています。また、優先的に子どもたちを乗船させるアナウンス等により、座席の確保はできると考えています。この件については、今後も名鉄海上観光船と協議していきます。</p> <p>第2段階で篠島中も統合となった場合、篠島、東港、西港と3港を経由すると、全体の通学時間がかかなり長くなってしまいますので、現時点では西港のみを想定していますが、今後の検討事項です。また、東港からの定期船を利用するといった方法も考えられます。</p>
2 1	<p>体調不良等で遅刻した場合、観光船→バス→到着時刻→何限目に間に合うのか一覧にして配布して欲しい。又、生徒の負担を減らす為、各交通機関を利用する際、時間のロスなく利用できるようにして欲しい。</p>	<p>朝のチャーター便に乗れなかった時は、通学定期券を利用して、定期船、定期路線バスを利用して学校へ登校していただくこととなりますので、ご要望のあった一覧表は、今後作成していきたいと考えています。また遅刻してしまった場合の授業については、「録画」を利用するなど対応を考えていきます。</p> <p>また、海上交通及び路線バスの乗り継ぎの利便性向上については、引き続き交通機関と協議していきます。</p>
2 2	<p>体調不良などで、船に乗り遅れた場合保護者が送っていく際の船代は出るのか？</p>	<p>体調不良の状況にもよりますが、基本的には、保護者の実費負担となります。中学生が付き添いを必要とする状況については、学校へ連絡して、対応することになります。</p>
2 3	<p>4つの地区が集まる再編委員会だけでは、日間賀島だから考えられる問題について検討することができないのではないかと。 日間賀島独自の問題を解決できる場を、再編委員会とは別につくってほしい。</p>	<p>再編委員会に地域課題検討部会を置き、地区ごとに課題等を考える体制を検討しています。その中で日間賀島地区独自の課題等も考えていく予定です。また、相談窓口の開設や意見箱の設置など、様々な形でご意見がいただけるような体制を整えていきます。</p>

2 4	<p>船に乗り遅れて、定期船に1人で行くことの不安のせいで学校に行けなくなり休んだ場合の、授業の遅れや補習などはしてもらえるのか？</p> <p>船での通学がない、今のままなら学校を休むことはない子どもも、そのような事が起きた場合、休んでしまうことになってしまう状況の対処方法をしっかりしてほしい。</p>	<p>定期船等が欠航のときは、家庭または公共施設で授業を受けられる手立てを準備します。リモート対応の基準は今後定めていくこととなります。様々なケースを想定し、個別的な事情であってもリモート授業を受けられるように体制を検討していきます。</p>
2 5	<p>未就学児や小学校低学年の子どもを持つお母さんは（特に、島外から嫁いできたお母さんの場合）島外に中学校が移ることによって、具体的にどのような問題が起こるのか想像できない。</p> <p>賛成数の中には、今は具体的な問題は想像できないけれど、自分たちの子どもが通う頃には問題点が洗い出され、きっと良い条件で通うことができるであろうという期待数も込められている。だからこそ、私たちの今の声を無視せず、きちんと誠実に向き合してほしい。</p>	<p>相談窓口の開設や意見箱の設置など、様々な形でご意見がいただけるような体制を整えます。また、相談会の実施や個別相談会の機会を設けるなど、継続して話し合いをさせていただければと思います。統合前はもちろん、統合後も引き続き、様々な角度からのアイデアを、ぜひ今後もお寄せください。</p>
2 6	<p>教育委員会の説明に偏りがあった。統合に誘導させるような、不安を煽るような説明が一部あった。</p> <p>又、緊急事態宣言中での意見交換会の実施は避けて欲しかった。参加できなかった方に向けて開催模様を録画し、配信するなどの配慮、考慮もできたのではないか。</p> <p>統合、話し合い、投票方法、どれをとっても一方的で島民の声を聞き入れようとする姿勢、寄り添う気持ち、配慮に欠けており、今の体制では同じ方向を向いていけない。改善してほしい。</p>	<p>2年前から統合について、各地域の保護者のご意見を伺ってきました。意見交換会では、ご意見が言えない方もいますので、会終了時には、必ず意見記載用紙にご意見を記入していただくようお願いしたり、会終了後に個別で意見を伺ったりして、広く意見を集めることを行ってまいりました。実施してきた学校統合に関する資料等は、町ホームページに記載していますので、一度ご覧ください。</p> <p>今回の各地区意見交換会は、緊急事態宣言中ではありましたが、子どもたちの教育環境を早く変えていきたいという思いで、実施してきました。資料等については、ホームページにて事前に実施計画案を公表し、音声による実施計画案の説明をユーチューブにて配信して、保護者の方に周知することを実施してきました。</p> <p>学校統合に関する説明について、不十分なところ、満足できなかったことなどあるかと思いますが、相談窓口の開設や意見箱の</p>

		<p>設置など、様々な形でご意見がいただけるような体制を整えます。また、相談会の実施や個別相談会の機会を設けるなど、継続して話し合いをさせていただければと思います。様々な角度からのアイデアを、ぜひ今後もお寄せください。</p>
27	<p>子どもの心のケアができる先生の配置、部屋の設置をしてほしい。その際、教員の人選をきちんと見極めてほしい。</p> <p>教員免許を持っていることが条件ではなく、話しやすさ、聞く力（聞き取り能力）、親も子も信頼できるような先生を配置することに責任を持ってほしい。</p>	<p>小中学校で相談できる体制を整え、児童生徒の皆さんが不安に思っていること、心配していることを教員がお聞きする一人ひとりの時間作りを既に取り組んでおります。そこでお伝えいただいた内容は、教育委員会でも共有し、少しでも不安や心配を解消できるようにしていきます。</p> <p>また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置など、不安や悩みを抱える生徒が相談できるようにします。</p> <p>子ども達の不安や保護者の不安をなるべく少なくできるよう、統合前からの継続性や、統合に離島の中学校が含まれる事情、個別の事情等をできる限りきめ細かく愛知県教育委員会に伝え、適切な教員配置を求めています。</p>
28	<p>統合に関して様々な意見、不安を抱えている。親のケアも出来るよう校内に相談窓口をつくってほしい。</p>	<p>相談窓口の開設や意見箱の設置など、様々な形でご意見がいただけるような体制を整えます。また、相談会の実施や個別相談会の機会を設けるなど、継続して話し合いをさせていただければと思います。様々な角度からのアイデアを、ぜひ今後もお寄せください。</p>
29	<p>スクールカウンセラーの増員をお願いしたい。</p> <p>中学校統合で、いじめ、不登校になった場合など子供たちへのケアをしっかりとってもらう為に増員をお願いしたいです。</p>	<p>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの増員配置など、不安や悩みを抱える生徒が相談できるようにするための体制づくりを検討準備していきます。</p>
30	<p>制服やジャージ等の移行期間を早目に教えて欲しい。</p> <p>たとえば、令和10年までは現行のままで制服、ジャージ等で大丈夫にしてほしい。</p>	<p>中学校再編委員会の中で、制服やジャージについて具体的に協議していきますが、令和10年の新設校への移転時を目処に、例えばブレザータイプの新しい制服などについても検討する予定です。</p>

	もし、買い換えるなら制服を町で全支給としてほしい。	す。 また、ジャージについては、数年間は、各学校のジャージと並行して使用していくこととなります。
3 1	中学校が統合しても、小学校と変わらず手厚いケアをしてほしい。	統合後も小中学校で相談できる体制を整え、児童生徒の皆さんが不安に思っていること、心配していることを教員がお聞きする一人ひとりの時間作りを既に取り組んでおります。
3 2	統合しても、中学3年と中学2年は前中学校の部活のままで、新設された部活には入部したくても出来ないのか？ 今は、人数も少なく部活も決められたものに入部しているが、運動が苦手だけどそれしか部活がなく、しかたなくやっている子もいると思います。 統合して文化部が出来た場合は、入部出来るのか検討してほしい。	部活動については、令和4年度から統合後の部活動を見据えた交流を実施していく予定です。具体的には、現中1は、来年度の郡大会以降、仮に現中学校にないが、統合後にできる部活動を現中学校で平日実施し、土か日に合同で実施することは可能であると考えています。同じく現小6年生も、来年中学に入学した時に、上記と同じことが可能となります。 詳細については、今後中学校再編委員会で検討していきます。運動が苦手な生徒に配慮した部活動も検討します。
3 3	朝の登校のチャーター便に、その時間で間に合う高校生も乗せてもらいたい。 中学校や小学校でお世話になった先輩達と一緒にだと安心。 師崎→内海駅間まででもいいので。	名鉄海上観光船に確認しないと断言できませんが、チャーター船の乗員数からみて、高校生が定期券を購入していれば、乗ることは可能であると思われます。ただし、チャーター便の大きさが座席数約55席、定員93人ですので、座席は、中学生優先となります。 バスについては、定員が補助席を入れて55席程度を予定していますので、中学生が座って余る席数であるなら、検討することはできます。
3 4	統合前に、中学校でのイベント時の駐車場の整備をしっかりとやっておいてほしい。 近くに空き地を借りてやるか、遠ければバスなどで送迎するなどの対策をきちんとしてほしい。 いろんな地区からくるので、自家用車で来校は多いと思います。	周辺駐車場の借用や、可能な限り海っ子バスを利用していただけよう乗車券の配布などを検討していきます。また、周辺施設への協力も要請します。

	<p>よろしくお願いします。</p>	
35	<p>島の子供たちの伝統行事である、島太鼓を残していきたい。 通常の部活動が終わり帰ってくると、かなり遅い時間になるので、それから課題をやってから、もし太鼓の練習となると子供たちへの負担も大きい 疲れるならやりたくないと言う子も多いと思う。 土日以外で早く帰る日を月に何回か設けてもらい、その日は各地区のことに参加する日などを作って欲しい。 島太鼓を続けてく上で、経験した先輩たちなどの指導者が必要だと思う。 島の子供たちがボランティアで教えてくれるかもしれませんが、島外から指導者が必要な場合の、船代などは負担してほしい。</p>	<p>島太鼓など各地区における取り組みの今後の在り方については、具体的には中学校再編委員会で検討いたします。 例えば島太鼓については、これまでのように中学校の授業で行うのがよいのか、学校の課外活動として行うのがよいのか、あるいは今後は地区の活動として残す方がよいのかなど、様々な選択肢があると思います。子どもたち、住民の皆さまにとってよりよい方向性を見つけていくことが必要です。大切なのは、子どもたち自身が「どうしたいか」「どうあるべきか」を考える機会をもつことだと思います。ご意見をいただいたように、部活のない日をつくり、日間賀島へ下校後の時間に講師や高校生の先輩方に来てもらい活動する、というのもアイディアの一つです。やり方を工夫して継続できる方法をみんなで考えていきたいと思っています。</p>
36	<p>子供たちにアンケートを取ってもらったとおもうのですが、もっと簡単な子供たちが想像しやすいアンケートでやってほしかった。 子供たちがやったアンケート結果がもう少し早く知りたかった。</p>	<p>令和2年7月に実施したアンケートは、当時の小4から中3の学年を対象に実施しました。内容については、「これからの南知多町の小中学校を考える調査」として、先生がアンケート内容を読んで説明しながら、答えてもらうアンケートでした。 アンケート結果については、ホームページに掲載していましたが、各保護者へは、配布はしておりませんでした。</p>
37	<p>船などの問題点を役場が早急にクリアにしてほしい。 そして、しっかりした答えを公表してほしい。 出来る、出来ないをはっきりしてほしい。</p>	<p>帰りのチャーター便については、名鉄海上観光船や海上タクシー会社とも協議していますが、各会社の人員数、保有船舶数の問題、夕方の定期便の乗客数のデータなどから総合的に判断すると、現段階では、帰りのチャーター便運行は難しいとの回答を得ています。島内の海上タクシーについては、生徒数約50人が座れる船の数は、限られており、定期的なドッグでの点検や、救急対応等により定期的な運行は、難しいと考えています。</p>

		<p>定期船については、現状の時刻表で考えると、師崎港発 16:30 発は、東港、西港に着きます。それ以降師崎港発の船は、篠島経由の日間賀島行きとなりますが、高速船の規格が大きくなりますので、平日については、船内で座って帰ることができると考えています。また、子どもたちを先に乗船させるアナウンス等により、座席の確保はできると考えています。この件については、今後も名鉄海上観光船と協議していきます。</p> <p>併せて、下校時の船待合については、帰りのバスの出発を船の時刻にできる限り合わせることで、到着地の師崎港でのバスの中での待機等により、師崎港観光センター内で生徒が待たない工夫をしていきます。</p>
38	<p>統合して、日間賀の子は島を理由に生徒会などの役をはぶかれるのではないか心配。</p> <p>日間賀だからといって、やれない事が多くならないようにしてほしい。</p> <p>もし、生徒会役員等になり、帰りが遅くなる場合は学校側が師崎まで送って欲しい。</p>	<p>子どもの不安をなくすために、合同行事や修学旅行時の交流の検討をするとともに、合同部活動を立ち上げ実施していくなど令和4年度中から中学生同士の交流を深め、令和5年4月から円滑に学校がスタートできるようにします。ご心配とは逆の見方になりますが、島での経験を生かしてリーダーシップを発揮することや、周りの生徒から頼りにされる、という機会もあると思います。いずれにせよ、各地区のよさ、それぞれの生徒個人のよさを発揮できる、また認め合える学校づくりを進めていくことが大切です。</p> <p>下校については、基本的には、決められた時刻のスクールバスで帰ることになりますが、生徒会行事など学校事情により、バスに乗れない場合は、職員が師崎港まで送っていくこととなります。</p>
39	<p>統合が、令和5年であと1年半は急すぎる。</p> <p>日間賀にとって大事な事なのに120人の保護者だけで決めるのはどうなのか？</p> <p>子供たちと相談してとあったが、兄弟がいて意見が割れたのに票は世帯に1票しかないのはおかしい。世帯数ではなく、子供一人一人に1</p>	<p>学校の統合については、子どもたちの人数が減少してきており、学年によっては、近い将来10人を切ってしまう学年が出てきます。中学校と小学校9年間、保育所をあわせると12年間、同じ子どもたち同士で学校生活をしていることとなります。少しでも早くいろんな人に出会う機会を増やしたいと思い、2年前から統合につ</p>

票ほしかった。

いて、各地域の保護者のご意見を伺ってきました。

昨年度、町内5地区の小中学校や保育所の保護者、地域の代表で構成された学校規模適正化懇談会において、内海中を改修して利用していく案が出ました。その後、各地区の意見交換会でいただいた意見を踏まえ検討しました。特に両島での意見交換会においては、「内海中の位置では遠過ぎる」という意見を多くいただきました。

町内すべての学校施設が老朽化している中、できる限り早く統合を目指し、町内すべての生徒の通学時間を最優先した結果、第一段階で令和5年4月に内海中へ移動し、第二段階として、令和10年4月に豊浜中に新設校を建設する案となりました。

今年7月のアンケートで提示した原案では、「篠島中、日間賀中については、あくまで保護者の理解が得られた段階で統合する。理解が得られれば第1段階で統合する」としていました。

そのアンケートの結果、「日間賀中は令和10年までには統合する」とした回答を合計すると68.6%となりました。この結果を受け、9月に統合の時期に関する投票を実施したところ、令和5年4月とした投票数のほうが多く、その結果を踏まえ、第1段階である令和5年4月の統合対象校に日間賀中も含める実施計画案となりました。

投票の対象となる保護者については、統合の時期に移動対象となるお子様をもつ保護者だけでなく、将来直接関わる世代も含め島で子育てをしている保護者の方すべてに、島の子どもの将来について考えていただきたいと考えました。そして、「島の子どもの将来にとってどちらがいいのか」という視点で考えていただきたいと考えたものです。昨年度も今年度も島の区長さまから「地域の声よりも、子育てに直接関わっている保護者の声をし

		っかり聞いてほしい」と伺っています。
40	<p>統合して、クラス編成する時に日間賀の子どもでかたまるのではなく、統合のメリットがなくなるので、いろいろな子どもたちの関わりを増やす為にもバランスよくクラス替えをしてほしい。</p> <p>ただ、現小学校や現中学校の担任の先生が子どもたちの事をしっかりみて、クラス編成するときにはアドバイスしてほしい。</p> <p>それでなくても統合が不安なのに、仲のいい子と同じクラスになれず学校に行くのが嫌になる子もいるかもしれないので。</p>	<p>ご意見のとおり、中1、中2については、様々な子どもたちの関わりを増やすためにバランスよくクラス替えを考えています。しかし、中3の子どもたちは、同じ中学校でクラス分けした方が不安なく、受験勉強にも集中できるという保護者の意見も聞いています。</p> <p>統合した初年度の中学3年生について、本来なら3クラスのところ、統合における配慮したクラス編成をすることは、選択肢の1つです。地区別の4クラス編成は、クラスメイトに変化がないことから、卒業後の進路決定を控える3年生の統合への不安を緩和することができると思います。しかし、再編の目的の1つである、新しい仲間との出会いといった効果が薄れることとなります。今後、生徒の声も聞きながら、中学校再編委員会で協議し、検討していきます。</p>
41	<p>統合前の段階で、学習の進み具合を全地区一緒にしておいて欲しい</p> <p>統合してから、この中学校は習っていた、この中学校は習ってなかったみたいなことにならないようにしてほしい。小学校6年も同様。</p>	<p>既に、統合がどのような形になっても対応できるよう、5中学校で情報交換をし、カリキュラム（教育課程）の調整を始めています。</p> <p>また、中学校の統合が決定された場合、速やかに「中学校再編委員会」を設置します。その中で、改めて5中学校の授業についても実施方法などの具体的事項について調整・検討していくこととなりますし、各小学校とも調整します。</p> <p>そのほかに学習評価についての共通理解や購入する副教材の統一を行う予定です。生徒、保護者の皆さまにもお伝えしながら進</p>

		めていきます。
4 2	<p>今まで、統合にむけてのアンケートや話し合いの進め方、投票など急すぎたり、わかりにくかった。</p> <p>令和10年にしておけば、時間に余裕もあるし、もっと考えたり、子供たちのケアや親の不安も解消され、きちんとした土台がある状態で進められたはずです。あと、1年半でどれだけのケアが全てできるのか心配しかない。</p>	<p>小中学校で相談できる体制を整え、児童生徒の皆さんが不安に思っていること、心配していることを教員がお聞きする一人ひとりの時間作りを既に取り組んでおります。そこでお伝えいただいた内容は、教育委員会でも共有し、少しでも不安や心配を解消できるようにしていきます。</p> <p>また、相談窓口の開設や意見箱の設置など、様々な形でご意見がいただけるような体制を整えます。また、相談会の実施や個別相談会の機会を設けるなど、継続して話し合いをさせていただければと思います。</p>
4 3	ケーブルテレビで、全地区の話し合いを流して欲しい。	<p>ケーブルテレビの撮影は、10月10日に実施した住民説明会のニュースのみ放映されました。各地区の状況については、町ホームページにて、参加人数や、意見の概要資料を掲載していますし、過去2年実施してきた意見交換会の資料も掲載していますので、一度ご覧ください。また、実施計画案を説明したユーチューブも掲載しています。</p>

4 4	<p>帰りがチャーター便じゃない場合の師崎での待合室の問題をしっかりと決めてほしい</p>	<p>帰りのチャーター便については、名鉄海上観光船や海上タクシー会社とも協議していますが、各会社の人員数、保有船舶数の問題、夕方の定期便の乗客数のデータなどから総合的に判断すると、現段階では、帰りのチャーター便運行は難しいとの回答を得ています。島内の海上タクシーについては、生徒数約50人が座れる船の数は、限られており、定期的なドッグでの点検や、救急対応等により定期的な運行は、難しいと考えています。</p> <p>定期船については、現状の時刻表で考えると、師崎港発 16:30 発は、東港、西港に着きます。それ以降師崎港発の船は、篠島経由の日間賀島行きとなりますが、高速船の規格が大きくなりますので、平日については、船内で座って帰ることができると考えています。また、子どもたちを先に乗船させるアナウンス等により、座席の確保はできると考えています。この件については、今後も名鉄海上観光船と協議していきます。</p> <p>下校時の船待合については、帰りのバスの出発を船の時刻にできる限り合わせることや、到着地の師崎港でのバスの中での待機等により、師崎港観光センター内で生徒が待たない工夫をしています。</p>
4 5	<p>中学校統合をきっかけに、島の高校生たちの船やバスの乗り継ぎも改善して欲しい。</p>	<p>高校生の現状も調べ、公共交通部局と連携して、路線バスや定期船の乗り継ぎについて検討していきます。</p>
4 6 - 1	<p>統廃合にあたり、「この町に移住したい・この中学校に通わせたい」と思えるような中学校にしていきたいです。それは、学びの選択肢がたくさんある学校です。</p> <p>子どもたちのほとんどは、「義務教育」は子どもが学校に行かなければいけないことだと感じています。どんなに苦しくても行かなければいけないと思っているし、大人も子どもたちに対して、そうした厳</p>	<p>南知多町の教育の基本方針は、今年4月に策定した「南知多町教育大綱（南知多町教育振興基本計画）」に記載しています。</p> <p>第7次南知多町総合計画が今年3月に策定され、南知多町教育基本計画が令和2年度で計画期間を終えたことから、令和3年度から令和6年度を計画期間とする「南知多町教育大綱（南知多町教育振興基本計画）」が策定されました。</p>

しさでもって「社会性や規範意識を身に付けさせること」を教育だと思っています。

ですが子どもたちが持っているのは「学習権」です。学びたい子どもは学んでいいという権利です。教育の義務を負っているのは大人で、子どもたちが学びたいと言った時に学ぶ方法すべてを提供しなければなりません。それは「教室の中で四角四面に並んでまっすぐ座ることができる子だけが学んでいい」という、条件付きの学びではありません。私たちは学校にたくさんのことを要求してしまっていますが、学校がやるべきことは、子どもたちの学びの機会を奪わないことだけです。学びたい子どもたちに、学べるような環境を用意することをいっばんに大切にしてください。絶望しそうな時でも学ぶことを諦めなくていい、子どもたちの学びを保障する、そんな学校にしたいのです。多様な個性を尊重し、学校に通うのが困難な子にもオンライン授業が受けられるようお願い致します。これが実現できたら、先行者優位で必ず移住者が来ます。学びの個性を尊重される教育は、今学校に通えている子どもたちの心ものびのびと豊かに育ちます。島の方たちも子どもたちも統廃合に安心していただけたらと思います。

「自然が豊かで人が優しい場所で子どもを学ばせたい」という親は日本中に沢山います。そんな人たちが「南知多で子どもを学ばせたい」と思えるような、他の町には無い特別な学校を作ってください。

南知多町教育大綱や、第7次南知多町総合計画における教育施策の位置づけの中で、基本目標「地域で育むひとづくり」の将来像の実現に向けて多様な施策を横断的に実施していくこととしています。

現在、国においても「令和の日本型学校教育」の構築を目指した施策が検討されています。学校教育に求められる、一人一人の児童生徒に育むべき資質・能力として、「自分のよさや可能性を認識すること」「あらゆる他者を価値のある存在として尊重すること」等が挙げられています。

本町においても、個別最適な学びの実現を目指し、オンライン授業を受けられる体制を整えていきます。また、適応指導教室の受け入れ態勢を充実させるとともに、各校における学習・生活支援員、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を継続し、多様な学びのための環境整備に努めます。

小中学校の在り方については、学校だけでなく、地域、企業、各種団体の皆さまと、相互に連携・協働し取り組んでいくべきであると考えています。

地域とのつながりを大切にして、子どもたちの学びを支える教育体制づくりを進める中で、学校再編に取り組んでいきます。

「南知多町全体を一つの学びの場とする」という理念のもと縦横連携教育を推進し、小中学校間だけでなく保育所、高校、大学との連携交流、他の市町村の小中学校、各種施設、団体などとの連携交流の場を広げていこうと考えています。

児童生徒が、地域社会について内からと外から理解を深め、郷土に誇りをもって町の魅力を発信できるような人を育てていきたいと考えています。

また、GIGAスクール構想において整備した一人一台タブレット

		<p>の活用を進め、コミュニティ・スクールの取組を進める中で、一歩先に行く南知多町の教育が実現できるよう、広くご意見等を集め、生かし、発信していきたいと考えています。</p>
4 6 - 2	<p>遠い豊浜まで通わせるのは、保護者として抵抗があります。豊浜の地理に詳しくありませんし、豊浜中へ登る通学路も安全性に不安があります。そんな遠くまで通わせて何かあったら帰ってこられるのだろうか心配です。</p> <p>避難路や迂回路の地理や、災害を踏まえた対策など、わからないと不安なままです。丁寧でわかりやすい説明と周知をお願いしたいです。</p>	<p>通学距離が長くなることで、どうしても心配なことが増えてしまいます。これまでも通学路の安全については、定期的に確認をしていますが、防災・安全の面では、新しい通学経路や、周辺の地理を含めた防災安全情報を整理し、地域の皆さまにも協力をお願いしていきます。中学校再編委員会における検討経過などもお知らせしながら検討していきます。</p>
4 6 - 3	<p>中学校再編委員会の構成は「①各地区の保護者を代表する者」とありますが、各地域の各学年から一人ずつ選ばれるのでしょうか。それとも「内海地区ひとり、豊浜地区ひとり」というような形でしょうか。代表ひとりだけでなく、意識のある保護者の方が参加できるようにしていただきたいです。</p>	<p>現時点での案では、「①各地区の保護者を代表する者」については、全ての中学校区（内海、豊浜、師崎、日間賀島、篠島）の中学校及び小学校のPTAにお願いし、地区で2名の代表を選出させていただきたいと考えています。また、小中学校の保護者以外にも中学校再編について考えてくださる方を公募する予定です。</p>
4 6 - 4	<p>日本の学校では薄着を強要する風潮がいまだに残っています。冷え性の子もいれば暑がりの子もいます。寒冷蕁麻疹などの疾患を持った子どももいます。女子が生理でも薄着でいなければならないなど、人としての尊厳が無視される時代もありましたが、個人や体調に合わせて衣類の調整は許されなければいけません。現代の在り方に則った新しい校則、制服、体操服をお願い致します。</p>	<p>ご意見をいただいた点については、十分に配慮していきます。また、子どもから教師や養護教諭などに話しやすい環境を整えるとともに、生徒自身の自律性を育てることを大切にしていきたいと考えています。</p> <p>学校における「生活のきまり」については、現在の中学校のものを基調としながら、生徒の意見も取り入れ、生徒の参画意識を育む中で制定をしていきます。</p>
4 6 - 5	<p>「内海中学校の体育館が無くなったら、災害時に避難所生活が余儀なくされた場合、内海の人たちはどこを避難所として利用したらいいのか」と説明会でおたずねしましたが、その返答は「（県の方をお願いしないといけないしまだわからないけれど）内海高校もある」とお</p>	<p>地域防災計画の中で、学校施設は災害時の避難所等に指定されています。</p> <p>中学校再編実施計画に従い、現豊浜中の位置に新校舎を建設し、令和10年4月に統合校が移転した場合、現内海中の校舎、</p>

	<p>答えいただきました。内海高校は、内海の方々からしたらとても遠く、お年寄りや子どもは徒歩で行くのが難しく、町との往復も大変で現実的には難しいように思います。</p> <p>内海に住むの方々からするとただ中学校が無くなるだけではないので、「中学校再編」という保護者への周知だけでなく、町民の方々に広く理解いただけるよう改めて周知をお願いしたいです。</p> <p>(「中学校の統合は今の保護者世代が決定した・反対しなかったためだ」と年配の方々から責められるのは悲しいです。)</p>	<p>体育館等を直ちに取り壊すことが決まっているわけではありません。学校施設が地域防災計画上の避難所等に指定されている限り、避難所等としての機能は維持されなければなりません。地域防災計画上は、地域の皆さまの声を聴いたうえで、内海中施設に代わって、例えば、内海高校など別の代替施設が避難所等に指定できるなどの場合に、(他の条件も考慮しますが)内海中施設を他の用途に転用することや取り壊すことができると考えています。</p>
46 -6	<p>アンケートをたくさんしてくださり、町民の声・保護者の声を聞いていただけてありがたかったですし、こうした声を汲み上げるためにあらゆるはたらきをいただき、お骨折りいただきありがとうございます。</p> <p>これまでの経緯は、統廃合に向けて進んできましたし、アンケートの質問の形も誘導的に感じられることも多々ありました。「結局は政治的な側面で物事が進み決定していく」という印象を感じ、「声をあげても意味が無い」という周りの保護者たちの意見や説明会の人の少なさからも、行政と町民の一体感や信頼感が薄まっているようにも感じましたし、それが子どもたちに与える影響も心配になりました。「自分たちが社会を作り、変えることができる」と大人たちも思っていないのかもしれない。</p> <p>行政ができることは有限ですし、未来を見据えて適正な形を目指すことで行政のサービスを安定させたい立場にあると思います。なので行政の限界点を説明することと、公平性・透明性が、町民との合意の形成に必要だと思います。今後もどうか公平で透明な進行と、行政の限界点の誠実な説明をお願いしたいです。限界を説明いただけたとしてもよくわかるし、そこからまた考えることができます。今後、子どもたちのための学校作りを、行政と町民が一体となって取り組んで</p>	<p>小中学校の再編(学校統合)については、平成18年の「学校統廃合の基本構想」で「中学校は全校を統合して1校、小学校は各地区に1校ずつ5校とする」とした基本構想を示しました。</p> <p>令和3年1月27日策定の「南知多町立小中学校 適正規模・適正配置基本計画」において、小中学校の現状やアンケート結果を踏まえて、学校規模適正化の基本的な方針と学校配置の適正化に向けた具体的な取組を示しました。その中に、適正規模として考える学級数や適正と考える学校配置について記載しています。</p> <p>今年7月のアンケートは、中学校の適正配置について、これまでの議論を踏まえて、行政側から具体的な統合案を原案として提示させていただいた上で保護者の皆さまのお考えを伺うという方法により行いました。</p> <p>町内全ての中学校において1学年1学級という現状から、できる限り早期に学校統合を進め、望ましいと考える教育環境(1学年複数学級)を整備する必要があると考えるためです。</p> <p>保護者、地域住民の皆さまに大きな選択を求める事柄であり、変化を受け入れることで痛みを伴うこともあります。今後も皆さまの声を聴きながら丁寧に説明し進めていきたいと考えており、ご意見のとおり「行政と町民が一体となって取り組んでいき</p>

	<p>行けたらと思っています。</p>	<p>い」と考えています。</p> <p>小中学校におけるコミュニティ・スクール導入の検討も、まさにご指摘のように、地域の力をお借りし「地域とともにある学校づくり」を目指すものです。地域住民の皆さまのご支援・ご協力なくしては、充実した学校再編はあり得ません。今後ともよろしくお願いいたします。</p>
<p>4 7 - 1</p>	<p>「各地域コミュニティの核としての性格を有し、防災や地域の交流の場等…」にはなれないのでは？</p> <p>理由としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年配の方は行きにくい。 ・車で行くには危険な道。校舎近くに十分な駐車スペースが確保できない。バス停から歩くのも大人には大変なので疎遠になる。 ・廃校になる校舎等を避難所として利用できなくなる。 <p>■防災の課題■（以下1、2、3）</p> <p>1, 防災対策</p> <p>この質問に対し、「各地区に委ねられている」と、仰っていましたが、立地上孤立しやすい豊浜中学校の特性上、何らかの対策はやはり必要だと思います。</p> <p>2, 土砂崩れ等に巻き込まれる可能性</p> <p>学校までの通学路は狭く、土砂災害特別警戒区域とも重なる箇所があるのでは？</p> <p>バスや車、自転車や徒歩で通学する生徒たちが土砂崩れ等に巻き込まれないか。また、すれ違いが困難な道でどう安全に通学させるのかの回答が欲しいです。</p> <p>3, 避難所としての機能（防災）</p>	<p>南知多町立中学校再編実施計画（案）の2ページ「2 目指す学校教育と育てたい児童生徒像」は、「南知多町立小中学校 適正規模・適正配置基本計画」より抜粋し一部改めて記載しています。ここでは、小中学校の児童生徒像としてまとめて記載していますが、小学校と中学校では、子どもの発達段階により異なる性格を有していると考えています。小学校については、地域に存置することが必要と考えており、中学校については、広い通学区域からの通学が可能で、町内の異なる地域からの生徒が集まり、生徒間の交流などで町内各地区の歴史、風土、文化に触れ、自らの出身地区への理解を深めるとともに、南知多町が自分の故郷であるという意識が育つことを期待しています。</p> <p>学校施設は、地域防災計画の中で、避難所等として位置づけられており、閉校となった場合にも、地域防災計画に位置付けられている限り、避難所等としての機能を維持していかなければなりません。他の用途に使用する場合や取り壊しをする場合も、避難所等としての機能を維持したり代替施設等を指定したりすることが必要であると考えられ、学校の統廃合と同時に、地域防災計画の見直しを進めていく必要があると考えています。</p> <p>現在の豊浜中学校の南坂通学路は、一部土砂災害特別警戒区域</p>

	<p>学校は毎日通学する児童生徒のためだけのものではありませんよね。「防災や地域の交流の場等、様々な機能を併せもって」いることは学校教育の側からみても理解できるものです。</p> <p>有事の際には地域住民の避難所となります。</p> <p>統合後の、廃校は再整備されますか？防災拠点はどこになるのですか？統合校の建築を急ぐあまり、公共の利益を無視して進めては、未来を担う子供たちにとっても悪影響であると考えます。</p> <p>以上の理由により、防災や地域コミュニティの中心とはなりにくいと考えます。・これからを生きる子供たちのためにも「学校」の様々な意義を「多角的に・広い視野で・柔軟に」伝えていってほしいです。</p>	<p>に重なっていますので、通学路の見直し等が必要であると考えています。</p>
<p>4 7 - 2</p>	<p>統合のメリットとしても掲げている「学校教育は地域の未来の創り手である子どもたちを育む営みでもあり、まちづくりの在り方と密接不可分である」という内容が、豊浜中学校では達成されにくいと考えます。</p> <p>豊浜地区からの人口流出が多い現状を考慮すると、物理的にも心理的にも距離がある（※1）豊浜中用地では、「まちづくりの在り方と密接不可分」となるのは困難だと考えます。</p> <p>（※1 豊浜中に通学していた元生徒たちが難儀したこと、主に豊浜以東で進学を機に町外への移住が続いていること、移住する理由はこの町に将来性を感じないからであるということ。実家も職場も町内であって町外へ移住する人達は何組もいること等。）</p> <p>統合による豊かな教育をしたいから「人数が増えることによる教育の可能性の増大」に胸を膨らませているのは、教員の皆様、保護者と</p>	<p>比較的人口減少の割合の低い内海地区に統合中学校を設置し、そこを核に町全体の発展を考えるとのご意見も承知していますが、中学校再編実施計画では、町全域からの通学等の利便性を重視して、町の中心に近い現在の豊浜中用地に新校舎を建設し、統合校を設置する計画としています。</p> <p>統合校では、小学校まで各地区で育った生徒が集まり、互いに交流する中で自らの出身地区と他地区について理解と親しみを深め、南知多町が我が故郷であるという意識が育つことを期待しています。</p> <p>そのような子供が大人となり、自然豊かな魅力ある故郷で、心豊かに人生を送る姿を思い描いていきたいと考えています。</p> <p>今後の取組みになりますが、コミュニティ・スクールの考え方を取り入れ、学校・生徒と地域が一体となった教育を進めていきたいと考えていますのでご協力をお願いします。</p> <p>例えば、部活動に関しては、従来の体制（中学校教員のみによ</p>

<p>もに同じです。それゆえ、急ぐのも分かります。</p> <p>どんな圧力があって豊浜中用地になったのかは存じ上げませんが、人口流出は避けられないと思います。</p> <p>せっかく統合するのであれば、「この町独自の、特色ある教育」を期待していましたが、今回の統合を主導する側に発展性の低さ(※2)も感じ、絶望に変わったところです。</p> <p>また、保護者説明会では、地区によって意見を変えているようでした(意見交換会のまとめ参照)。考えが変わって発言に変化があったと信じたいですが、反対意見を収めるために話を合わせているだけではないことを祈ります。</p> <p>(※2 発展性が低いというのは、現行の部活動を存続させ新しい部活動設置は考えていない。といった発言や、校庭の広さや部活動の種類などでジェンダーの理解へ影響を与えるという保護者の意見に対して真意を汲みず射ない回答がありました。新しいことへの取り組み、古きを見直し向上させることへの理解や意識が「決める側」に欠けていると感じ、将来性に欠くという考えから。)</p>	<p>る指導)では、持続可能なものにならないと考えています。新しい部活動設置については、今後、地域住民の皆さまによる指導等、新たな体制の構築が不可欠です。子どもたちのためのよりよい環境づくりに対しご協力をよろしく申し上げます。</p>
<p>4 7 - 3</p> <p>島の密接な関係性がよくて、あえて島を選んで住んでいる方も多いと思います。島は離島の補助金や交付金があるため、学校維持にかかる費用も相殺されるのではないのでしょうか?無理に統合させるのは島の人口減にも繋がるのでは。実際、半島部に住んでいても、1学年1クラス規模の学校への憧れもあって移住してきたので、統合して不便になるくらいなら都市部へ出ますよ、となります。</p> <p>「保護者の理解が得られ」←島の保護者にプレッシャーを与えているようにも感じられる文言です。「対象者の賛同をいただいた時点で」等、文言を変える。</p>	<p>子どもを中学生までは島の中で育てたいというお考えについて否定するものではありませんが、中学生の発達段階において、より多様な考え方に触れ、社会性や規範意識を身に付けることも重要であると考えています。そのため、中学校においては、通学の負担等を考えても、一定の学校規模の確保が必要だと考えています。地元で育てることも大切にしながら、ご理解をいただけるように対話を深めていきたいと考えています。</p> <p>学校運営にかかる町負担については半島側と島で大きな差はありません。</p>

<p>4 7 - 4</p>	<p>「豊浜中用地に決定」となった時点で、町外移住を決める家庭もあるので、一定数、将来の生徒数を減算して検討。</p> <p>既に転出した家族もあります。現在町外に家を建築中の家族もあります。誘われて転出する家族もあります。町内に実家と職場がありながら転出する子育て世代が何組もいます。今回の統合を受け、豊浜で育ちながらも「町の発展のためには普通に考えて内海。この町には未来はない」と、数年以内に町外へ転出すると話す家族もあります。そのような家族はこの町の課題をよくわかっているのでしょうか、町に意見することなく黙って転出していきます。意見を言っても無駄だと思いきや絶望して去るのです。</p> <p>教育委員会や町議会に「町内在住の子育て世代」がいなくても、現状に想像が及ばないようなら、充実した教育環境の整備に係る想定も不十分になるのではないのでしょうか。</p> <p>先細りの生徒数減を前提に「先を見据えて」いるようですが、魅力的な学校運営による、子育て世帯の移住人口を考えられるくらい挑戦してください！生徒数減に抗わず、先を見据えることが、まるで終活のようで、消滅する町の「町じまい（最期待）」のように思えてしまいます。是非、人口増の当事者にもなり得ることを自覚してください。持続可能性を意識してください。</p>	<p>ご指摘のとおり、町の人口減少と子どもの人口減少が進行する見込みの中で計画を作成しています。そのような条件の中で、より良い持続可能な施策を考えていかなければなりません。人口減少の中にあっても、そこに住み続ける人にとって、良い学びの場（学校）や豊かな生活を送ることができる社会を構築することが目標であり希望でもあると考えています。</p>
<p>4 7 - 5</p>	<p>「統合に係る諸課題について調査・検討し、」とありますが、もしも、計画・調査段階で大幅な予算の上乗せが必要と分かった場合や、造成や再建築、防災面等で見直しを迫られた場合に、豊浜中用地を見直すこともありますか？</p> <p>それとも令和10年度開校のために断行されますか？</p>	<p>予測不可能な事態が起きる可能性はゼロではありませんので、計画が実現困難となる場合もないとは言えません。しかし、計画の中に文言を加える必要があるとまでは考えていません。</p> <p>学校用地の隣接地を買収し校庭を拡張するという回答はしてい</p>

<p>そうなった場合の対応は想定されていますか？</p> <p>実現困難となった場合に見直すのであれば、「実現困難となった場合に見直す」といった文言を加えてください。</p> <p>校庭が狭いという意見に対し、「拡張する」「隣地を買収する」といった回答がありましたが、土地の拡張のために土地の切り土や盛り土を行うのは莫大な費用が要る上、熱海の土砂災害のようなことも起こらないとは言い切れません。</p> <p>その他、特別な工事が多くなり費用の増額が想像されるため、拡張は簡単ではないと思います。</p> <p>例・谷を埋めて転落防止：約80億円 ・切り土など、土地の造成、数十億円。 他、防災など町の何年分の費用になるか分からない。</p> <p>「敷地を拡張する」「校舎付近までバスで登る」と言っていたことが予算や法律の面で、もしも実現しないと分かった時には、子どもたちや保護者の意見を改めて訊いてほしいです。</p> <p>それならば妥協しようと考えてくださった保護者、児童生徒が多くいると思います。</p> <p>実現困難な点を伝える労力や、ふり出しに戻るかもしれない懸念で、再調査を怠ることの無いよう真摯に向き合っていただきたい。</p>	<p>ません。可能性を検討するという回答をしています。現状の学校用地でも、新校舎建設の位置を工夫して、グラウンドを広く使用できるようにすることはできると考えています。</p> <p>校舎付近までバスを運行することは可能です。</p>
<p>4 7 - 6</p> <p>場所を決定してからでないかと検討できないから、納得いただけそうな町の中央部の豊浜中用地とし「決定」としたいのだと思います。</p> <p>自身としては豊浜中用地に納得しておりませんが、再編した際の内容については協議を進めてよいと思います。</p> <p>場所の見直しがあっても通学方法や校舎などのインフラの再検討が</p>	<p>これまでの様々な議論を踏まえ、町全域からの通学等の利便性を重視して、町の中心に近い現在の豊浜中学校用地に新校舎を建設し統合校を設置する計画<原案>を提示させていただき今年7月の保護者アンケートを実施しました。その結果を踏まえて、「中学校再編実施計画（素案）」を作成し、コロナ禍の緊急事態</p>

	<p>主になるため、こちらは学校教育課、教育委員会といった主管部署で進めていけるのでは。まずは内海中用地で少なくとも5年間統合中学校として機能するのですから。</p>	<p>宣言期間中ではありましたが、町内5地区で保護者意見交換会を実施させていただき、また、町公式ホームページに「中学校再編実施計画（素案）」の説明（スライド+音声）を掲載しご意見等をいただくよう努めました。それらでいただいたご意見等を基に「中学校再編実施計画（案）」を作成し、パブリックコメント（10/7～10/21）を実施し、住民説明会（10/10）を開催しました。そこでいただいたご意見等を基に10月26日に開催した町総合教育会議にて「中学校再編実施計画」を定め（策定）しました。「中学校再編実施計画」に基づき、「学校設置条例の一部改正条例」が町議会において可決された場合は、「中学校再編実施計画」に従って中学校再編（学校統合）を進めていきます。</p>
<p>47 -7</p>	<p>コミュニティスクールを謳うのであれば各地区に学校が設置されていてこそ「核」ではないですか？</p> <p>力を合わせてくれる地域住民の多くは比較的年配の方々に、移動の範囲も限られてくるのでは？</p> <p>具体的に「地域とともにある 学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」とは何かを明示ください。</p>	<p>地域の皆さまとともにコミュニティ・スクールの考え方を取り入れた学校運営をしていきたいと考えています。</p> <p>小学校は、複式学級にならないよう統合も考えますが、5つの小学校を存置し地域のコミュニティの核として、地域での学び、地域とのつながりが保てる環境で、地域の教育力を活用して子どもたちを育てていきたいと考えています。</p> <p>中学校におけるコミュニティ・スクールの考え方は、町内各地域で育ってきた小学生が中学校で集まり、それぞれの地域で育んだ地域とのつながり、地域の歴史、風土、文化を互いに知り理解を深めるとともに、自身の出身地区に関しても理解を深め、南知多町が我が故郷であるという意識が育つことを期待しています。具体的な検討は今後行っていきますが、地域の行事などに参加する機会を大切に、総合的な学習の時間をはじめ、学校の学習課程の中にも位置付けていくことを考えています。</p>

47-8	<p>早期（令和3年度中）に令和10年度豊浜中新校舎竣工が難しいと分かった等、豊浜中現校舎を令和5年度の統合校とし、内海中学校用地などに新校舎を建設する可能性はあるか。</p>	<p>現在の豊浜中用地での新校舎建設については、今後、基本構想、基本設計、実施設計という順に進めていきます。その中で、各種法令等の確認、建設費の詳細が明らかになります。現時点では、建設は可能であると考えており、現在の内海中用地での新校舎建設は考えておりません。</p>
47-9	<p>・事前交流事業（合同授業、合同行事など）について、今すぐにも各地区の児童生徒たちと交流を増やしてください。</p> <p>南知多町は特に地区によって地域性があり、語気や雰囲気にも驚くこともあるかと思えます。幼いうちから相互理解を深め、同じ郷土の仲間としての意識を高める機会をより多く与えてほしいです。</p>	<p>今年度も既に交流事業を計画していましたが、コロナ禍により実施できなかったという経緯があります。今後も、交流事業は積極的に計画し、中学校再編委員会を早期に設置し、様々なご意見等を取り入れながら進めていきたいと考えています。</p>
47-10	<p>車や運転免許を持たない保護者が増えています。豊浜となった場合、送迎困難者に対して支援はあるか。</p> <p>ここでこそ、他市町には当たり前にあるのに南知多町にはない「ファミリーサポート」が必要。福祉関連やまちづくりなどの他課とも調整されたい。どうか。</p>	<p>基本的には、公共交通の利用等をお願いしたいと考えています。両島の保護者の方が学校行事に参加する場合などの定期船の乗船料については検討していきます。</p> <p>ファミリー・サポート・センターについては、第7次南知多町総合計画に記載していますが、今後、子育て環境の充実のため、ニーズを考慮し実施を検討するなどの取組みを行っていきます。</p>
47-11	<p>実施計画のとおり進めるとして、法令や土地、予算面などで折りが付かなかつたり、想定外の事態で難航したりする等の問題が起きた場合は「見直し」「延期」は検討されますか。</p>	<p>ご意見のとおり検討すると考えています。</p>
47-12	<p>公共施設の更新は安全管理や地域コミュニティ維持のためであると思います。改めて、現代以降は「心」の時代になります。地方回帰が進む中、近隣市町と比較しても、南知多町は人口減少スピードが速いです。</p> <p>豊かな自然や、ココロの豊かさがありながら、流入よりも流出人口の方が多いためです。</p> <p>「持続可能な財政運営の観点からも取り組まなければならない重要な課題となっています」とあるように、「持続可能な」この町の特</p>	<p>学校施設については、今後、学校統合が進んだ場合には、閉校となる学校施設の有効活用について検討を進めていく必要があります。学校施設に限らず、町内の公共施設についても、老朽化の進行や人口規模に見合った施設規模や再配置について、再検討することが喫緊の課題となっています。いただいたご意見も参考にさせていただきます。公共施設の総合管理、再配置に向けた取組みを進めていきます。</p>

	性を活かした、公共施設再配置と未来の人材である子どもたちの育成について、柔軟で多角的な視点で検討いただきたいです。	
47 -13	<p>閉校となった施設の利用について、「複合施設化による施設の集約や民間活用も含めた跡地利用に取り組んでいく必要があります。」とあるので、防災拠点の能力は残していただきたい。</p> <p>内海の住民は歩いて内海高校まで…等という生活弱者を見捨てるようなこのないように。</p> <p>また、登校困難児や不登校の受け皿として、さらには学校のサテライト化（分校様）を見越して、「複合施設」の設置を検討してください。</p>	<p>学校施設は、地域防災計画の中で、避難所等の防災拠点として位置づけられています。そのため、学校の閉校に関わらず、地域防災計画で位置付けられた防災機能等は、地域の実情に合わせて維持していく必要があると考えています。</p> <p>複合施設化については、公共施設の再配置の一つの手法として、いただいたご意見も参考にして検討していきます。</p>